

イーストスプリング
新興国スタープレイヤーズ

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2024年10月25日～2025年 4月24日

第13期 2025年 4月24日決算

日経新聞掲載名：新興国スター	
第13期末(2025年 4月24日)	
基準価額	14,071円
純資産総額	499百万円
第13期	
騰落率	△ 10.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として新興国の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

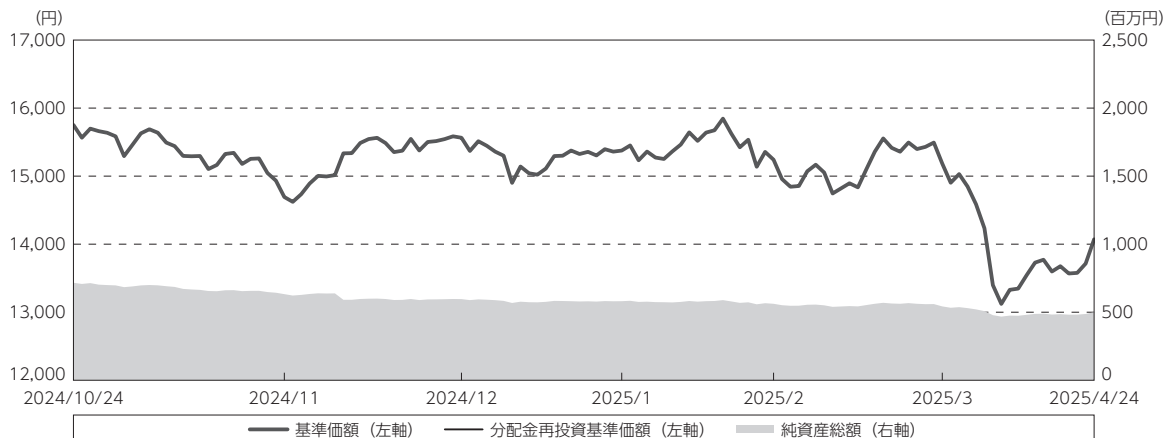
<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書（全体版）」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2024年10月25日～2025年4月24日)



期 首：15,752円

期 末：14,071円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 10.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年10月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・保有する株式が下落したこと。
- ・新興国通貨が円に対して下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2024年10月25日～2025年4月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	151	0.987	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(84)	(0.548)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(63)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.045	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(7)	(0.045)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	9	0.057	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(9)	(0.057)	
(d) そ の 他 費 用	133	0.874	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(78)	(0.514)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(7)	(0.044)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(48)	(0.311)	キャピタルゲイン税およびインドの税務代理人に対する手数料等
合 計	300	1.963	
期中の平均基準価額は、15,273円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

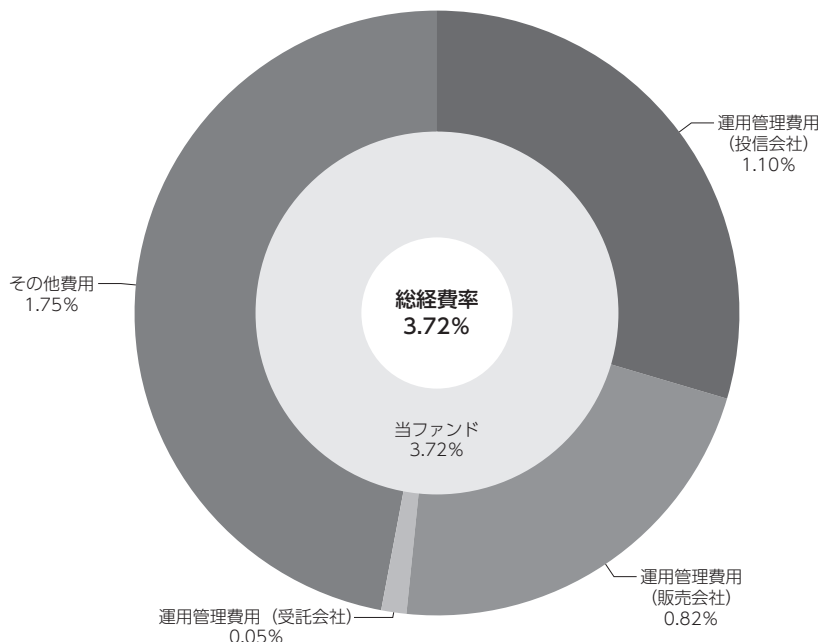
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.72%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2020年4月24日～2025年4月24日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年4月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年4月24日 決算日	2021年4月26日 決算日	2022年4月25日 決算日	2023年4月24日 決算日	2024年4月24日 決算日	2025年4月24日 決算日
基準価額 (円)	10,257	14,815	12,943	12,536	14,503	14,071
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	44.4	△ 12.6	△ 3.1	15.7	△ 3.0
純資産総額 (百万円)	1,846	2,502	2,027	1,674	771	499

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

新興国株式市場

期初から新興国株式市場は米トランプ政権の通商政策に対する不透明感や中国の保守的な支援策に対する失望などから下落しました。2025年に入ると、中国では習近平国家主席がアリババグループの共同創業者である馬雲氏ら財界要人を招いた座談会（シンポジウム）を主宰し、民間企業には明るい成長余地があり、中国経済の成長にとって重要な役割を果たす旨の発言をしたことが好感され、中国株式市場の上昇が新興国株式市場全体の反発をけん引しました。4月には米トランプ政権が公表した各国に対する相互関税とその後の中国などによる報復関税を受けて、米国を含む世界経済減速や景気後退入り懸念などが高まるなか先進国株式市場は大きく下落し、新興国株式市場も同様に下落しました。当期の新興国株式市場は前期末から下落しました。期中における国別の値動きでは、南アフリカや中国などが上昇した一方でインドネシアやタイなどは下落しました。またセクター別の値動きではコミュニケーション・サービスや金融などが上昇した一方で、情報技術やエネルギーなどは下落しました。

為替市場

期初からの米ドル高を背景に多くの新興国通貨は対米ドルで下落しました。その後米国経済の先行き不透明感から米ドルが売られるなかでも新興国通貨は米ドルに対して小幅な上昇幅にとどまりました。円は米ドルに対して上昇しました。当期の新興国通貨は対米ドル、対円で下落しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資しました。

イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド

主として新興国の株式に投資を行うことにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。投資にあたっては、「ROIC（投下資本利益率）」、「業界内での競争優位性」、「株価の上昇余地」、「ESG（環境・社会・ガバナンス）理念」に着目して銘柄選択を行い、ポートフォリオ構築を行いました。当期は中国の電気自動車メーカーBYDやインドの金融サービス会社バジャジ・ファイナンスの株式などの保有がプラスとなった一方で、台湾の半導体受託製造会社TSMCや中国のEコマース会社美团の株式などの保有がマイナスとなりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第13期
	2024年10月25日～ 2025年4月24日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,041

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式へ投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。

イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド

米国経済の先行き懸念から世界的にリスク回避姿勢が見られるなかでも、新興国株式市場は先進国を上回る値動きを見せています。今後は、米国による相互関税を受けた各国との協議の進展、米ドルの動向、さらに国内経済を支えるための中国の経済政策の内容に注目しています。中国では2025年3月に開催された全国人民代表大会(全人代)にて、ハイテク産業の成長支援や消費財買い替え促進などの内需拡大、国内住宅市場の下落に歯止めをかけるため住宅地の新規供給規制や住宅在庫の買い上げなどの重点策を発表しました。一方、米国の相互関税や移民政策などが米国経済に与える影響や米国のインフレ高止まり、利下げペースのさらなる鈍化懸念など様々な不透明要因は新興国株式市場にとってリスク要因として残ると思われます。このような環境下では収益率を維持できる高い競争力を持つ企業を選択することが重要です。銘柄選定においては、企業の競争力を測る上でバランスシートが強固で高いキャッシュフロー創出能力があるという点も重視しています。引き続き、「ROIC(投下資本利益率)」、「業界内での競争優位性」、「株価の上昇余地」、「ESG(環境・社会・ガバナンス)理念」の4つの柱に着目して運用を行ってまいります。保有するロシア株については情勢の先行き不透明感やESGリスクの観点など総合的な側面から判断して取引状況を注視しながら売却を進める方針です。

お知らせ

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）」の一部改正に伴い、2025年4月1日付で「運用報告書に記載すべき事項の提供」にかかる条文を「運用状況に係る情報の提供」に変更するため信託約款に所要の変更を行いました。

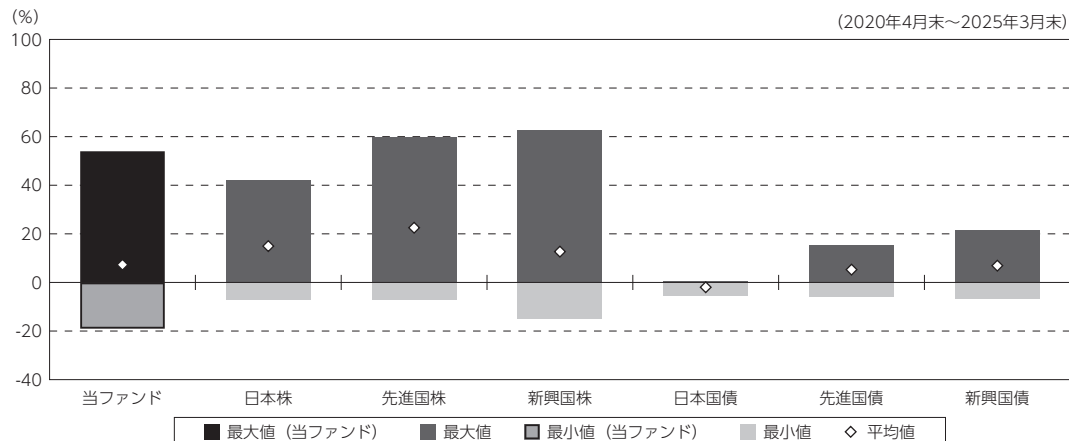
2023年11月の「投信法」の一部改正により、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2018年10月26日から2028年10月24日まで	
運 用 方 針	主として新興国の株式（DR（預託証書）を含みます。以下同じ。）に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング新興国スタープレイヤーズ	イーストスプリング・サステナブル新興国株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・サステナブル新興国株式マザーファンド	新興国の株式を主要投資対象とします。
運 用 方 法	イーストスプリング新興国スタープレイヤーズ	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング・サステナブル新興国株式マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年4月24日および10月24日。休業日の場合は翌営業日。）に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国国債
最大値	54.0	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 19.0	△ 7.1	△ 7.4	△ 15.2	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	7.3	14.9	22.5	12.7	△ 2.0	5.3	6.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年4月から2025年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI－KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA－BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

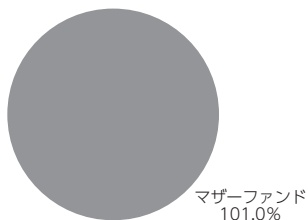
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第13期末
イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド	% 101.0
組入銘柄数	1銘柄

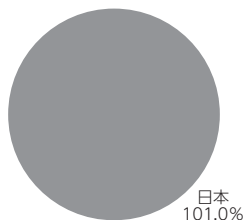
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

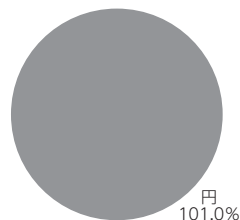
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

純資産等

項 目	第13期末
	2025年4月24日
純 資 産 総 額	499,661,008円
受 益 権 総 口 数	355,095,412口
1万口当たり基準価額	14,071円

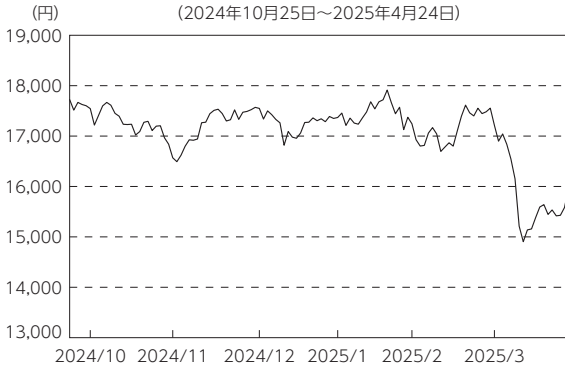
(注) 当期中における追加設定元本額は884,963円、同解約元本額は100,500,221円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年10月25日～2025年4月24日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月25日～2025年4月24日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	8 (8)	0.045 (0.045)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	10 (10)	0.056 (0.056)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他 1)	142 (88) (53)	0.821 (0.511) (0.310)
合 計	160	0.922

期中の平均基準価額は、17,248円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

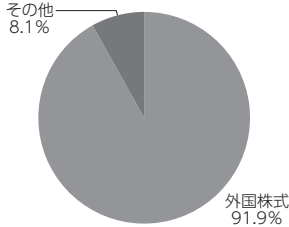
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
					%
1	TSMC/台湾セミコンダクター	半導体・半導体製造装置	新台湾ドル	台湾	7.9
2	テンセント・ホールディングス	メディア・娯楽	香港ドル	ケイマン諸島	5.4
3	サムスン電子	テク/ロジ・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	4.9
4	アリババ・グループ・ホールディング	一般消費財・サービス流通・小売り	香港ドル	ケイマン諸島	4.0
5	バジャジ・ファイナンス	金融サービス	インドルピー	インド	3.3
6	サンパウロ州基礎衛生公社	公益事業	ブラジルレアル	ブラジル	3.1
7	ネイバー	メディア・娯楽	韓国ウォン	韓国	3.0
8	BYD	自動車・自動車部品	香港ドル	中国	2.8
9	HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	2.5
10	中国平安保険(集団)	保険	香港ドル	中国	2.4
組入銘柄数		50銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

【資産別配分】



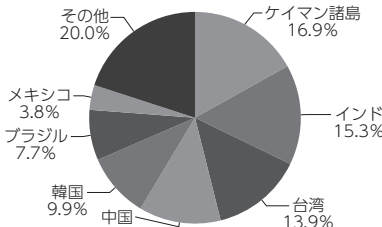
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

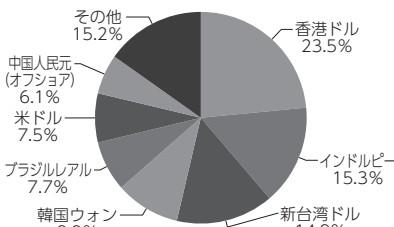
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

【国別配分】



【通貨別配分】



＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。